

内郷高坂 防災まちづくり活動ニュース

平成27年10月発行 いわき市 危機管理課

第2回防災まちづくりワークショップを実施しました

平成27年10月1日(木)午後2時から住吉神社社務所にて、高坂2区・3区・4区のふくろう見守り隊の方々を中心とするメンバーで「第2回内郷高坂地区防災まちづくりワークショップ」を実施しました。

※「防災まちづくりワークショップ」は、地区の住民のみなさんの話し合いにより、ハザードマップや計画づくりを進めるもので、平成27・28年度にわたり全10回行います。【下図 テーブルごとのお話合いの様子】

今回は11名(地区住民9名、内郷第一中学校飯島校長先生、内郷消防署1名)が参加し、地区の「防災上の課題の確認」をテーマとして「意見交換(ワークショップ)」を行いました。(詳しい内容は裏面参照)

2テーブルに分かれて、お一人お一人の意見を出し合い、地図を用いて話し合いました。最後に、テーブルごとのお話合いの内容を発表しました。



【発表の様子】



次回は、実際に地区を歩いて、危険箇所などを確認します。これからでも参加できますので、地区の防災に関心のある方は是非参加してみませんか。【参加申し込みは下記の連絡先まで】

◆防災まちづくり活動支援事業に関するお問合せは



いわき市行政経営部危機管理課：植野(うえの)、久野(ひさの)、藁谷(わらがい)
(電話 22-7551(直通))

★ 第2回ワークショップで話し合った内容 ★

■地域の強み・弱みの地図上での整理

○地図をテーブルに広げて、災害時の活動の軸となる道路や、公共施設を確認しました。

○災害時の危険箇所を確認しました。

【いろいろな危険箇所等が確認できました。右写真は地図の一部を示しています。次回のまち歩き等で確認・整理します】



■地域で想定される被害の確認

○地区内の「急傾斜地崩壊危険箇所」及び「急傾斜地崩壊被害想定区域」の概ねの位置・範囲を確認し、これらの範囲に含まれる住宅数や居住世帯・居住者数を確認しました。【予想される被害規模が大きいことがわかりました。】

■地域の分析・課題の話し合い

○防災に関する地域の強み、弱みと避難の課題を整理しました。

○地域の強み

- ・幼稚園や小・中学校が存在し、避難場所も多い
- ・学校とのつながりがある
- ・地域住民の連帯意識がある

○地域の弱み

- ・急な崖地、車が入りにくい道路がある
- ・団地など周辺とのつながりが希薄
- ・高齢者が多い
- ・住民の危機意識が薄いのではないか

○避難の課題

- ・坂道が多く、避難所が坂の上の高台にある。一方で徒歩避難が前提（避難が大変）
- ・スーパーマーケットが冠水する
- ・防犯カメラや災害広報スピーカー等の設置が必要ではないか
- ・高齢者と小・中学生との共助を進める必要がある
- ・避難時の家族連絡方法の確認が必要である

次回の防災まちづくりワークショップの予定

次回は「まち歩き」を開催します。これからでも参加できるプログラムと なっていますので、是非ご参加ください。【お申し込みはオモテ面下の連絡先まで】

回数	時期	取り組み
第3回	11月5日(木) 午前10時～12時	○まち歩きによる防災上の課題の現地確認
第4回	12月3日(木) 午後2時～4時	○地区の防災上の課題の整理
第5回	2月3日(木) 午後2時～4時	○ハザードマップの作成 ○2年目の活動計画の検討